

方向性 I

自分らしいスタイルが実現できるまち

利便性と自然のバランスのとれた地域で、ICT や AI などの進化する技術を活用しながら、起業やまちづくりの活動、職住近接などを通じて、わくわく感や面白いことができる、挑戦できる地域へ。
時間や空間にゆとりを持った多様な暮らしの実現、自分らしいスタイルを実現できるまちへ。

シナリオ 1 地域と趣味と仕事が重なる暮らし

業務環境の整備を推進し、柔軟な働き方や生活スタイルが実践され、地域と趣味と仕事が重なる暮らしを実現する



シナリオ 2 いつからでも誰でもスタートアップ

学び直しの機会が少なかった社会人に、高度な専門知識を習得する機会をを広げ、複業、起業、転職がしやすく、スタートアップを支援するまちになる



シナリオ 3 多様な人々が住みやすいまち

シニア、女性、障害者、LGBTQの方々をはじめ、誰もがありのままの自分が受け入れられ、望む活動や自己実現ができ、住みやすい地域になる



シナリオ 4 多文化共生で人々がいきいきと暮らせるまち

地域に暮らす日本人や外国人が日本や外国の文化を学び、異文化交流を進め、お互いに尊重しあい、新しい価値観や文化が生まれる



方向性 II

自然、歴史、文化が息づくまち、人を育てるまち

北摂の里山、海岸部の阪神なぎさ回廊、「阪神間モダニズム」などこの地域に息づく文化や歴史などの様々な地域資源をまもり、次世代へ継承。
豊かな地域資源を地域住民自身も体感することによって、こころ豊かで、地域に愛着を持った人を育てるまちへ。

シナリオ 5 未来まで続く花と緑と里山

里山保全の担い手解消のため、里山のファンやサポーターを増やし、里山や景観の保全と人々の定住、移住、交流が進む



シナリオ 6 みんなが憩う阪神なぎさ回廊

イベントによるPRやサイクリング等に必要な整備などを行い、憩いの場、レクリエーションの場として賑わう



シナリオ 7 再発見で魅了する「阪神間モダニズム」

「阪神間モダニズム」の認知度向上や専門的な人材育成等を進め、発展・継承する仕組みができていく



シナリオ 8 生涯の学びと次世代につなぐ阪神文化

伝統や継承文化について学ぶ機会をつくり、専門的な人材を育て、さらなる発展をしながら阪神地域の風土を継承している



方向性 III

みんながつながるやさしいまち



都市部特有の近所付き合いの希薄化、少子高齢化が進む中、既成の概念にとらわれない新しいスタイルのコミュニティを形成。自身が望むようなつながりを持てたり、世代を超えてつながることができるまちへ。
脱炭素社会に向けた取組と災害時に誰一人取り残さないまちへ。

シナリオ 9 世代を超えてつながるまち

オールドタウンの活性化、周辺地域の魅力向上に取り組み、世代を超えてつながり、誰もが望む暮らしができるようになる



シナリオ 10 自分にあった“つながり”に参加できるまち

様々なつながり方でつながるきっかけや仕組みをつくり、自分にあった“つながり”に参加できるまちを実現する



シナリオ 11 地域で循環するエネルギー

再生可能エネルギーの導入拡大により脱炭素社会への取組を進め、エネルギーを地域で循環させる



シナリオ 12 みんなで進める防災・減災

ハード対策を進めるとともに、防災訓練、要援護者への個別支援計画などのソフト対策を充実させ、誰一人取り残さない避難行動ができ、人命が守られるようになる



シナリオ 13 いきいき健康100年人生

認知症やフレイルの理解を進め、予防に取り組んで健康寿命を伸ばし、年齢を重ねても自分らしい暮らしが実現している



方向性 IV

にぎわいのあるまち

宝塚大劇場や甲子園球場のような多様な観光施設や、「『伊丹諸白』と『灘の生一本』下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷」などの日本遺産、豊富な地域資源の磨き直し、おいしい地元産の「食」により、外国人も含む人々の交流の促進を図り、いっそうにぎわいのあるまちへ。



シナリオ 14 アートによるクリエイティブな環境づくり

多彩な特色あるアートイベントや舞台芸術の情報発信、アートに取り組みやすい環境づくりを進め、アートが生み出されるまちにする



シナリオ 15 訪れたい訪れやすい阪神地域ツーリズム

観光しやすい環境を整え、マイクロツーリズムが増えるなど、いつも誰かが訪れるにぎわいのあるまちになる



シナリオ 16 美味しい「食」と多彩な「農」

こだわりの食材やブランドが維持できる仕組みをつくり、「メイド・イン阪神」の食材がブランドとして確立し、人気が高まる



シナリオ 17 まちなかのにぎわいを創出する

地域のコミュニティやイベントに参加しやすい環境を整え、意欲的な活用で発展し、地域がにぎわう



シナリオ 18 みんなで楽しむスポーツ

多様なスポーツを楽しめるよう、環境を整え、スポーツが生活の一部になる。スポーツツーリズムを推進し、スポーツのまちとして新たな産業がうまれる

